

令和7年2月4日からの大雪について（第9報）

1 厚生労働省における対応

(1) 2/3 15:40 厚生労働省災害情報連絡室設置

2 医療関係

(1) 医療関係全般

各都道府県に対し、大雪の影響による医療施設等の被害情報について EMIS 等を通じた情報収集、情報提供を依頼。また、都道府県等を通じて、管内施設管理者に対し、気象・防災情報に留意しつつ、必要な行動をとるよう注意喚起を依頼（2/3）。

2月4日	北海道	EMIS 警戒モードに切り替え。
2月4日	鹿児島県	EMIS 警戒モードに切り替え。
⇒2月6日	EMIS	警戒モード解除
2月7日	愛媛県	EMIS 警戒モードに切り替え。
2月7日	岐阜県	EMIS 警戒モードに切り替え。
2月7日	新潟県	EMIS 警戒モードに切り替え。
2月7日	石川県	EMIS 警戒モードに切り替え。

(2) 医療施設の被害状況（2月8日 9時00分時点）

現時点で被害報告無し。

(3) 医薬品・医療機器製造販売業、卸売製造販売業関係

都道府県、関係団体に対し、注意喚起するとともに、被害状況を把握した場合には報告するよう依頼（2/3）。

現時点で被害報告無し。

3 社会福祉施設等関係

各都道府県・指定都市・中核市に対し、大雪の影響による社会福祉施設等の被害情報を収集する体制の確保や停電時の支援体制を確認するとともに、速やかな被害状況等の把握と情報提供を依頼。

併せて、都道府県等を通じて、社会福祉施設等の管理者に対し、気象・防災情報に留意しつつ、早期避難など必要な対策をとるよう注意喚起を依頼。（2/3）

(1) 高齢者関係施設の被害状況
現時点で被害報告無し。

(2) 障害者関係施設の被害状況
現時点で被害報告無し。

4 保健・衛生関係

(1) 人工透析患者の安否

各都道府県に対し、透析医療の提供が困難となる事態にも対応できるよう注意喚起を行うとともに、被害状況確認の連絡体制確保を要請した。また、日本透析医会に対し、情報共有について協力を依頼した。(2/3)
現時点で被害報告なし。

(2) 人工呼吸器使用者の安否

各都道府県・指定都市・中核市・児童相談所設置市に対し、特に在宅で人工呼吸器を使用している難病患者に関する対応について注意喚起を行うとともに、被害発生時における報告を要請(2/3)。

患者団体に対し、地区支部を通じて、特に在宅で人工呼吸器を使用している難病患者への被害情報の把握について協力を依頼(2/3)。
現時点で被害報告無し。

(3) 公費負担医療

公費負担医療(原爆、感染症、難病、小慢、特定疾患、肝炎等)について、受給者証等がなくても受診でき、緊急の場合は指定医療機関以外の医療機関でも受診できる取扱いとする旨の事務連絡を都道府県宛に発出(2/7)。

※「【事務連絡】令和7年2月4日からの大雪に伴う災害の被災者に係る公費負担医療の取扱いについて」(令和7年2月7日付け関係課連名事務連絡)

5 薬局、輸血用血液製剤、毒物劇物関係

(1) 薬局、薬剤師

都道府県等に対し、注意喚起するとともに、薬局の被害状況を把握した場合には報告するよう依頼した。現時点で被害報告なし。(2/3)

(2) 輸血用血液製剤の供給

採血事業者(日赤)に対し、注意喚起とともに、輸血用血液製剤関係の被害情報等の収集と報告を行うよう依頼(2/3)。現時点で被害報告なし。

(3) 毒物劇物

都道府県等に対し、注意喚起するとともに、毒物劇物関係の被害状況を把握した場合には報告するよう依頼した。現時点で被害報告なし。(2/3)

6 地方支分部局関係

(1) 都道府県労働局関係（管内の状況） 【2月7日12:00時点】

○ 富山労働局

【臨時閉庁】

閉庁施設：富山わかものハローワーク

閉庁時間：令和7年2月8日（土）10時00分～17時00分

※富山わかものハローワークは毎月第2・第4土曜日を閉庁日としている。

【業務再開予定】

令和7年2月10日（月）10時30分

○ 愛媛労働局

【臨時閉庁】

閉庁施設：西予市ふるさとハローワーク

閉庁時間：令和7年2月5日（水）9時00分～令和7年2月6日（木）終日

【業務再開】

令和7年2月7日（金）9時00分

7 労働関係

(1) 労働基準関係

・各都道府県労働局に事務連絡を発出し、被災地域における労働基準関係の業務運営について指示（2/7）。（事務連絡「自然災害時における労働基準関係行政の運営について（令和7年2月4日からの大雪による災害）」）

①労災保険給付の請求について、事業主等の証明が受けられなくても請求書を受理する等の手続きの簡略化

②労働保険料等の納付について、事業主等からの申請に基づく猶予措置等の実施

③企業が倒産等し賃金未払のまま退職を余儀なくされた労働者に対する未払賃金立替払制度の申請手続きの簡略化

(2) 職業安定関係

○雇用保険関係

・各都道府県労働局宛に事務連絡を発出し次の事項を指示（2/7）。（事務連絡「災害救助法適用時における求職者給付の支給に関する特例措置に関する留意事項等について」）

① 災害により休業するに至った事業所の早急な把握に努めること、当該事業所の労働者で一時的に離職を余儀なくされた者は基本手当の特例措置の対象になること等

② 被災地域の受給資格者に対する配慮（失業認定日変更、必要書類の確認、失業の認定における弾力的な取扱い等）を行うこと

（3）労働災害状況

・北海道労働局管内において、作業員1名がトラックの屋根の上で雪下ろし中に転落し死亡。（2/5）

8 医療保険関係

○被災に伴い被災者がマイナ保険証又は資格確認書等（有効期間内の被保険者証を含む）を保険医療機関に提示できない場合においても医療保険による受診が可能である旨について、関係者に対する周知を、関係団体、都道府県、地方厚生（支）局に要請（2/7）。

※「令和7年2月4日からの大雪に伴う災害の被災者に係るマイナ保険証又は資格確認書等の提示等について」（令和7年2月7日付け保険局医療課事務連絡）を送付（2/7）。

○全国健康保険協会、健康保険組合、健康保険組合連合会、社会保険診療報酬支払基金及び地方厚生（支）局に対して、災害その他の特別の事情がある被保険者に係る一部負担金等の徴収猶予及び減免を行うことができる旨を改めて周知。

※「災害により被災した被保険者等に係る一部負担金等及び健康保険料の取扱い等について」（令和7年2月7日付け保険局保険課事務連絡）を送付

○各都道府県に対して、災害により被災した被保険者に係る保険料（税）・一部負担金の減免を行うことができる旨を周知。

※「「災害により被災した国民健康保険被保険者に係る国民健康保険料（税）等の取扱いについて」の再周知について」（令和7年2月7日付け厚生労働省保険局国民健康保険課事務連絡）を送付（2/7）。

※平成25年5月に発出した事務連絡を再周知。

○各都道府県等に対して、災害により被災した被保険者に係る保険料・一部負担金の減免を行うことができる旨を周知。

※「令和7年2月4日からの大雪にかかる後期高齢者医療制度の一部負担金及び保険料の取扱いについて」（令和7年2月7日付け保険局高齢者医

療課事務連絡)を送付(2/7)。

※平成25年5月に発出した事務連絡を再周知。

○被災者がマイナンバーカードを保険医療機関等に持参できない場合においても、オンライン資格確認システムで薬剤情報等が提供可能となる緊急時機能のアクティブ化を実施(2/7)。関係者に対する周知を、関係団体、都道府県、地方厚生(支)局に要請(2/7)。

※「令和7年2月4日からの大雪にかかるオンライン資格確認等システムにおける「緊急時医療情報・資格確認機能」をアクティブ化する医療機関・薬局の範囲・期間について」(令和7年2月7日付け保険局医療介護連携政策課、医薬局総務課、社会・援護局保護課事務連絡)を送付(2/7)。

※「令和7年2月4日からの大雪にかかるオンライン資格確認等システムにおける「緊急時医療情報・資格確認機能」をアクティブ化する医療機関・薬局の範囲・期間について(その2)」(令和7年2月7日付け保険局医療介護連携政策課、医薬局総務課、社会・援護局保護課事務連絡)を送付(2/7)。

9 年金関係

○市町村等に対して、災害により被災した被保険者に係る国民年金保険料の免除を行うよう周知について通知を発出するとともに、日本年金機構に対しても指示。(2/7)

○日本年金機構に対し、災害により被害を受けた適用事業所に対する厚生年金保険料等の納付の猶予制度等に係る周知について通知を発出するとともに、地方厚生局にも併せて通知を発出。(2/7)

10 障害者支援関係

(1) 被災した要援護障害者等への対応について

災害救助法が適用された自治体に対して、被災した要援護障害者等について、特別な対応(被災し、利用者負担をすることが困難な者について、利用者負担の減免ができることや、障害福祉サービス事業所等で災害等による定員超過利用が認められることなど)について周知し、特段の配慮を要請(2/7 新潟県)

(2) 特別児童扶養手当等に係る提出書類の省略等について

特別児童扶養手当等の認定等に係る提出書類の省略や一定の被害を受けた被災者に係る所得制限の特例措置等について都道府県等に要請(2/7 新潟県)

1.1 消費生活協同組合関係

○国が所管する共済事業を行う消費生活協同組合及び同連合会に対し、災害救助法が適用された自治体において、①共済証書等を焼失又は流出した共済契約者に、簡易な確認方法をもって共済金の支払いの利便を図ること。②被災した共済契約者への共済金の支払いをできる限り迅速に行うよう配慮するとともに、共済掛金の払込猶予期間の延長等を行うこと。③共済契約の更新手続きにおいて猶予期間を設けることなどの取扱いが可能である旨通知を发出（2/7）。

以上